

# ふしみさらダボール子育て情報



「知力を育てるコツ」

令和6年5月8日号

板橋富士見幼稚園



## 子どもとの関わりを大切に

幼児期は、日ごとに新しい出会いを見せてくれながら成長していきます。昨日出来なかったことが、今日になって突然できたりすることがよくあります。

成長と共に自尊心が芽生え、周囲から嫌なことを言われたり、嫌なことをされたり、叱られたりすると、突然泣き出したり、下を向いたり、表情が暗くなったり、人を避けたりと、様々なサインを出すことがあります。これは自我が芽生え始めている証拠です。

2歳を過ぎる頃までは、ほとんどの子どもにとってお母さんが一番の遊び相手です。たくさん一緒に遊んであげてください。傍で見守っているだけではなく、この時期こそ相手になって遊んであげることで、様々な知恵を学び、知識を蓄え始めることができます。

1歳半から2歳半ぐらいまでの時期に、親と一緒に遊び、笑い、楽しんだ子どもは、想像力もとても豊かになり、言葉の発達も速くなります。言葉での表現が相手の心に届くようになると、人と関わるのが上手になっていきます。

最近では、親と関わる時間が少なくなり、共感したり、その場を共有したりする機会が少なくなったと言われてきています。子どもにとって、最も必要な環境は、たくさんの言葉を投げかけてくれる「人」なのです。人は、子どもを豊かに育てます。是非、大人がその子のパートナーとなってあげて欲しいものです。

人との出会いのない環境は、子どもにとっては不自由で、遊びにくい環境です。物を買って与えるよりも、語り合い、笑い合う環境の方がずっと豊かな環境なのです。子どもにとって大人が与える物は、珍しく飛びつきたくなるものですが、物だけでは遊びは長続きしないのです。人と関わりながら様々な発見をし、そして、一緒に取り組む環境が子どもの知力を育てていきます。



【5月5日はこどもの日】  
池の鯉や園庭のこいのぼりを見ながら、鯉の力強さや  
かつこよさを感じ、  
こどもの日の由来を  
知っていきました。